

健脚競い、早春を駆ける

3月12日、第38回となる大山登山マラソンが4年ぶりに行われました。
 全国からエントリーした1739人のランナーが伊勢原駅北口〜大山阿夫利神社下社までの約9キロ、標高差約650メートルのレースに挑戦。終盤2キロの険しい石段1610段が待ち構える難コースでは、各々が力を振り絞り、ゴールを目指しました。
 廻入ポーツ課 94-4628

目指す先は、阿夫利の高嶺

沿道の声援を胸に

最後の気力を振り絞る

そして、歓喜の瞬間



- 各部門の優勝者**
- 男子29歳以下
田村健人(A'Sグループ)42分02秒
 - 男子30歳代
栗原正明(チームエース)43分31秒
 - 男子40歳代
秋吉元(海老名市)43分33秒【大会新記録】
 - 男子50歳代
武藤尚一郎 46分34秒
 - 男子60歳以上
岩田賢一(小田原走ろう会)52分03秒
 - 女子39歳以下
鮎子田麻衣 51分14秒
 - 女子40歳以上
齋藤磨実(チームMASA)54分42秒
 - 市内在住者最速タイム
石井琉聖(ち〜むシピン)42分41秒 男子29歳以下

沿道の声援に励まされ、持てる力を存分に発揮
 市内に事業所がある企業でトラックのドライバーをしています。6回目の参加となる今回の大会で優勝することを目標に練習していましたが、コロナ禍で3年続けて中止だったため、コンディションを維持するのが難しかったため、それでも、勤務地に近いチャンピオンズパークからゴール地点の大山阿夫利神社下社まで仕事終わりに何度も走り、大会当日のイメージを思い浮かべました。
 何度も立ち止まったり、地面に手を付きたくったりするような非常に険しいコースでしたが、沿道の声援による後押しや給水ボランティアさんの協力もあり、自己ベストのタイムで部門別の大会新記録を出すことができました。応援していただき、ありがとうございました。

男子40歳代優勝者
秋吉 元さん(43歳)



たくさんの方に支えられ、開催できました
 新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が3回中止を余儀なくされ、残念な思いをしていました。そして久しぶりの開催となった今回。期間が空いてしまった分、スムーズに運営できるか心配でした。しかし、スポーツ協会や各団体のボランティアスタッフ、招待ランナー、一般ランナーの方々のおかげで、無事に行うことができました。この大会は皆さんの協力なしには実施できないと改めて痛感しました。
 大会を成功させるべく、取り組んでいただいた全ての関係者に感謝しています。今年の内容を一つのベースにして、次の開催に繋げていきたいと思えます。

大山登山マラソン大会実行委員会
委員長 久保岡 晃一さん
(69歳・池端)